

【R6 経営方針】 誰一人取り残さず全ての子どもの可能性を引き出す教育の実現を目指す

目指す子ども像 (ICP)

主体的に考え判断していく力

◎重点

- わかったことや思ったことを伝えることができる
- ◎ より良いものを作り出すために協働できる
- 学習したことや他の意見をもとに答えを見付ける
- 自分も相手も価値ある存在として大切にする

- 自分の体を知り、体力向上や健康に気を付ける
- 人の話や文をしっかりと理解する
- ◎ より良い行動を考え、進んで取り組む
- 自他の命を大切にされた行動をとることができる

I 全職員で一体感のある生徒指導★あたたかいかかわり ★いじめを許さない→「いじめ見逃し0」)

II 心理的安全性の高い学級・職場づくり
(支持的なあたたかい学校風土の醸成)

III 教育相談しやすい学校の実現

IV 創造的・協働的に業務を推進し
教育活動を充実させていく組織運営

VI 自他を認め思いやり、目標へ向け
自ら行動し、協働していく心の醸成

VII 体力向上・望ましい生活習慣へ自己調整
していく力の醸成 チャレンジ 2024

子どもの
主体的な
学びを支え、
伴走していく
あたたかい
学校

V 教育 DX の推進

- ①ICT を活用した包括的な学校改善
 - 働き方改革×ICT⇒業務効率化で時間の創出
- ②資質・能力を育む授業・教育活動への工夫・改善
 - 学習基盤・・・支持的学級風土、自己肯定感の高まり
 - 情報活用能力の育成
 - 授業改善×ICT⇒主体的に学び進める力の育成
 - 学びの保障×ICT⇒オンラインで双方向の学び

VIII 地域で学び成長を支える地学協働の推進

- 地域と学校の win-win へ向けた CS・PTA の連携
- 9年間で資質・能力を高める小中一貫教育の推進

働きがいのある学校

特別支援教育の視点を基盤にし
た教育活動

全職員による
あたたかいかかわり

課題を見つけ自ら考え判断し行動し
ていく力を高める教育活動の創出